第５学年２組　算数科学習指導案

**１　題材名**　　　分数のたし算とひき算

**２　本時の学習指導**

（１）目標

○通分の仕方を理解し、通分ができる。（数量や図形に関する技能）

（２）展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習指導 | 指導上の留意点 | 時間 |
| 問題場面：３/４、５/６、７/８を大きい順に並べよう。  １　本時の問題場面について知り、課題をつかむ。  Ｃ１　線分図で考える。  Ｃ２　通分すれば比べられる。  課題：３つの分数の大きさの比べ方を考えよう。  ２　課題について考える。  Ｃ１　線分図に書いて比べる。  Ｃ２　４と８の最小公倍数は８で、６／８＜７／８。次に８と６の最小公倍数は２４だから、通分すると２０／２４＜２１／２４。よってよって３／４＜５／６＜７／８になる。  Ｃ３　４と６と８の最小公倍数は  　　２４だから、通分すると１８／２４、２０／２４、２１／２４。よって３／４＜５／６＜７／８になる。  ３　考えを発表する。  ４　それぞれの違いについて考える。  Ｃ１　ちがいだから引き算をすればいい。  ７／８－５／６  ５／６－３／４  Ｃ２　通分したあとなら計算できそう。  　　２１／２４－２０／２４＝１／２４  　　２０／２４－１８／２４＝２／２４  ４　本時のまとめをする。  まとめ：３つの分数の大きさは通分することで比べることができる。 | ○問題場面をノートに書き終わる時間を確保する。  ○大きさを比べるためにどんな方法があるか予想する。  ○前時で学習した通分を思い出させるためにノートを振り返るようにする。  ○机間指導をして、線分図で考えている児童については通分で考えてみるよう促し、Ｃ２やＣ３の考えに至るように支援する。  ○大きさを二つずつ比べている児童については、より速く通分を行う方法はないか考えるよう促し、Ｃ３の考えに至るように支援する。  ○Ｃ３で考えられている児童を称賛する。  評通分の仕方を理解し、通分ができる。  （数量や図形に関する技能）  ○児童の考えをまとめ、板書する。  ○線分図で考えた児童の考えは書画カメラを使って発表するようにする。  ○大きさ順に並べた分数を黒板に示し、差を考えてみるよう指示を出す。  ○引き算ができそう。しかし元々は分母が異なる分数だったことを示し、通分したことによって引き算ができるようになったことに気づかせる。  ○差がいくつか発問する。  ○まとめを児童の言葉で考えさせ、発表するようにする。  ○補足で「※通分すれば分母の違う引き算もできる。」もまとめに付け足す。 | 5’  15’  10’  5’  5’ |

**３　備考**　在籍児童数　３５名